

米販売動向調査について(全米販)(令和3年9月分)

1. 調査期間 令和3年9月21日(火)～令和3年10月12日(火)
2. 回答数 58会員
3. 調査結果概要

Q1: 昨年9月と比べた令和3年9月(1か月)の米販売量

「やや減った」、「減った」の回答を合わせると5割を占めたが、それ以外の回答もそれぞれ一定数あり、地域・販売先等によってばらつきが見受けられる結果となった。

Q3: 3か月前(令和3年6月)と比べた販売動向

「変わらない」の回答が一番多いものの、「やや悪くなっている」、「悪くなっている」の回答数が「やや良くなっている」、「良くなっている」の回答数を上回り、DI値は「42.2」。

Q5: 3か月先(令和3年12月頃)の見通し

「変わらない」、「やや良くなる」の回答数を合わせると約7割を占め、DI値は「54.7」。

4. 集計結果

Q1: 昨年9月と比べた令和3年9月(1か月)の米販売量

回答者数(会員)					
合計	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った
58	10	10	9	16	13
100.0%	17.2%	17.2%	15.5%	27.6%	22.4%

Q3: 3か月前(3年6月)と比べた販売動向

回答者数(会員)					
合計	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
58	7	9	15	13	14
100.0%	12.1%	15.5%	25.9%	22.4%	24.1%

DI値
42.2

(参考) 規模別 DI値		
規模A	規模B	規模C
40.9	45.5	40.0

Q5: 3か月先(3年12月頃)の見通し

回答者数(会員)					
合計	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
58	2	26	15	11	4
100.0%	3.4%	44.8%	25.9%	19.0%	6.9%

DI値
54.7

(参考) 規模別 DI値		
規模A	規模B	規模C
54.5	54.5	55.0

※企業規模について

規模A: 米穀の売上高が年間100億円以上、規模B: 米穀の売上高が年間25億円以上～100億円未満
規模C: 米穀の売上高が年間25億円未満

～主な回答理由～

Q1: 現在(3年9月)の米販売量(前年同月との比較)

1. 卸間売買、中食は増加したが、外食は落ち込みが激しい。
2. 価格の安い県外産米の販売量は増加している。
3. 3年産は前年産と比べ安価であることも影響してか、動きは良い。

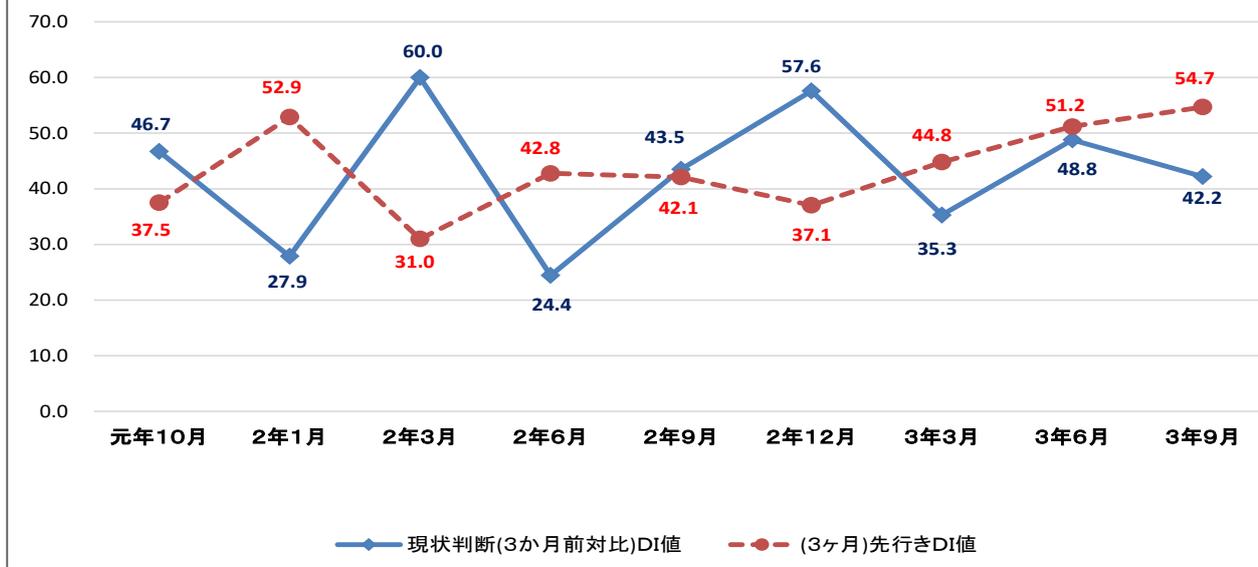
Q3: 過去(3か月前)と現在の動き

1. 長雨の影響で県内産米の収穫が遅れ、販売機会を逃した。また、品質低下により販売意欲の減退につながった。
2. 量販店の販売価格が下がっているが、販売数量はそれほど伸びていない。
3. 全体の消費量が増えていない中、各社増量キャンペーンを行ったため、個人の購入頻度に影響を及ぼした。

Q5: 将来(3か月後)の動き

1. 観光地向けは、外国人観光客が戻るくらいになれば回復は厳しいと思われる。
2. 新米の販売価格が下がったため、家庭用の販売は増加すると予測。
3. 緊急事態宣言解除による行動規制の緩和により、外食・中食の販売に好転の兆しが見られる。
4. 第6波の拡大次第ではあるが、年末年始も自宅を過ごす傾向が強いと予想しており、外食等は厳しいとみている。

【米販売動向調査（DI）の推移】



Q2：昨年9月と比べた令和3年9月（1か月）の米販売量

<仕向先別>	合計	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った
(小売店向け)		%	%	%	%	%
大手スーパー	100%	5.3	31.6	23.7	21.1	18.4
中小スーパー	100%	9.6	19.2	28.8	30.8	11.5
米穀専門店	100%	1.9	1.9	25.0	34.6	36.5
その他	100%	21.4	9.5	21.4	19.0	28.6
(外食産業向け)						
外食向け	100%	3.8	3.8	26.9	38.5	26.9
中食向け	100%	1.8	20.0	30.9	25.5	21.8
給食向け	100%	0.0	1.8	60.0	21.8	16.4

Q4：3か月前（令和3年6月）と比べた販売動向

<仕向先別>	合計	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている	DI指数
(小売店向け)		%	%	%	%	%	
大手スーパー	100%	5.3	21.1	42.1	15.8	15.8	46.1
中小スーパー	100%	5.9	13.7	35.3	31.4	13.7	41.7
米穀専門店	100%	1.9	0.0	37.7	37.7	22.6	30.2
その他	100%	7.0	11.6	34.9	23.3	23.3	39.0
(外食産業向け)							
外食向け	100%	5.8	11.5	42.3	30.8	9.6	43.3
中食向け	100%	1.8	21.8	45.5	23.6	7.3	46.8
給食向け	100%	1.8	7.3	65.5	16.4	9.1	44.1

Q6：3か月前（令和3年12月頃）の見通し

<仕向先別>	合計	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる	DI指数
(小売店向け)		%	%	%	%	%	
大手スーパー	100%	2.6	30.8	41.0	23.1	2.6	51.9
中小スーパー	100%	2.0	27.5	41.2	29.4	0.0	50.5
米穀専門店	100%	1.9	24.1	40.7	24.1	9.3	46.3
その他	100%	0.0	16.7	45.2	26.2	11.9	41.7
(外食産業向け)							
外食向け	100%	5.8	42.3	38.5	13.5	0.0	60.1
中食向け	100%	5.5	27.3	54.5	12.7	0.0	56.4
給食向け	100%	0.0	18.2	69.1	10.9	1.8	50.9

*DI (diffusion index) の算出方法：内閣府で発表している「景気ウォッチャー調査」方式を採用した。具体的には、5つの回答選択肢に均等に0～1の評価点を与え、各回答の構成比に対応するそれぞれの評価点を乗じ、それらの合計を指数(%ポイント)としてDI値を算出。それが50の場合は横ばい(現状維持)を示す。0に近づくほど販売が低迷傾向にあることを示し、逆に100に近づくほど販売が好調傾向であることを示す。

(算出例)	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
評価点 A	1	0.75	0.5	0.25	0
結果(構成比) B	17.8	20.0	20.0	22.2	20
各DI値 C=A×B	17.8	15	10	5.6	0
DI値(合計)	48.4→米販売の動きはほんの少し低迷傾向				